

【投信調査コラム】

日本版ISAの道 その116

NIPPON
INDIVIDUAL
SAVINGS
ACCOUNT

ボラタイルな相場展開の中、NISAで何が買われたか？
9月の人気は日本株(ブルベア含む)、次いでREIT・グローバル株、
新規投資家はアセットアロケーションも人気。

商品企画部 松尾 健治
窪田 真美

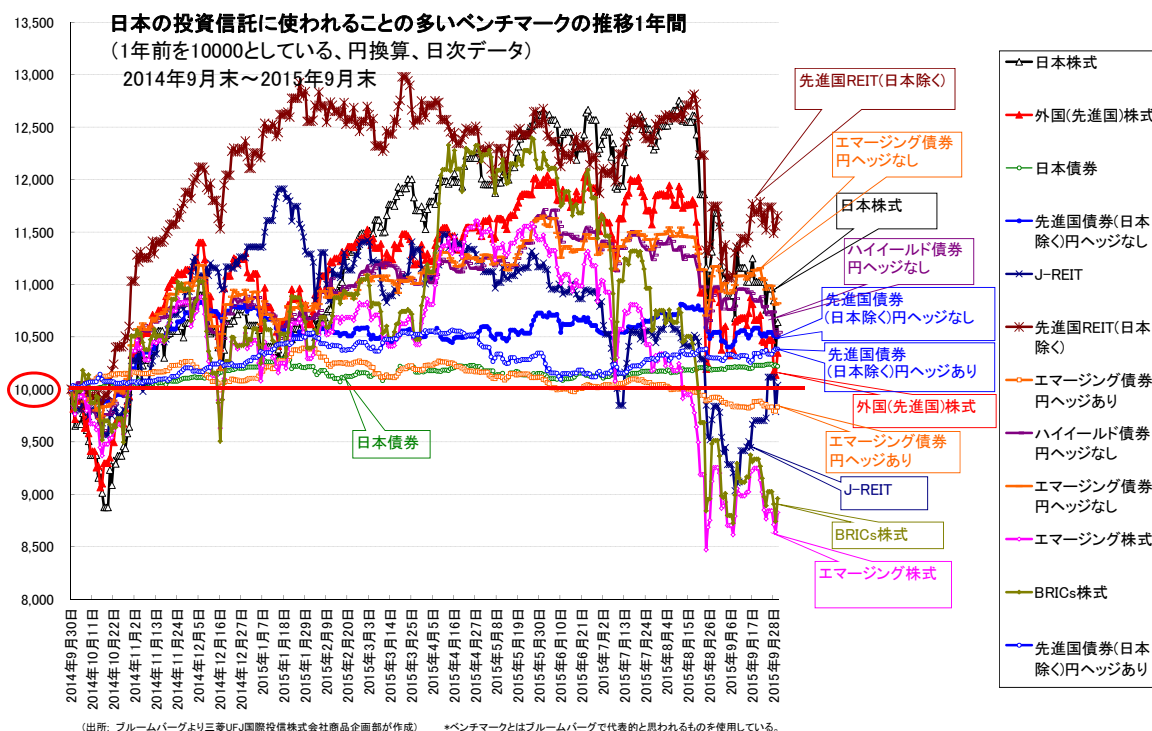
※三菱UFJ国際投信がお届けする、日本版ISAに関する情報を発信するコラムです。

9月の非常にボラタイルな相場展開の中、NISAで何が買われたか？

2015年9月は米国の年内利上げ観測と中国など新興国経済の減速に対する警戒感などで、非常にボラタイルな相場展開となった。日経平均株価は2015年9月29日に16930.84円と2015年1月16日来8カ月半ぶり安値を付けたが(*2015年6月24日に付けた20868.03円~1996年12月5日来高値~からは-19%下)、その後反発、2015年9月30日は17388.15円となった(10月2日は17725.13円)。

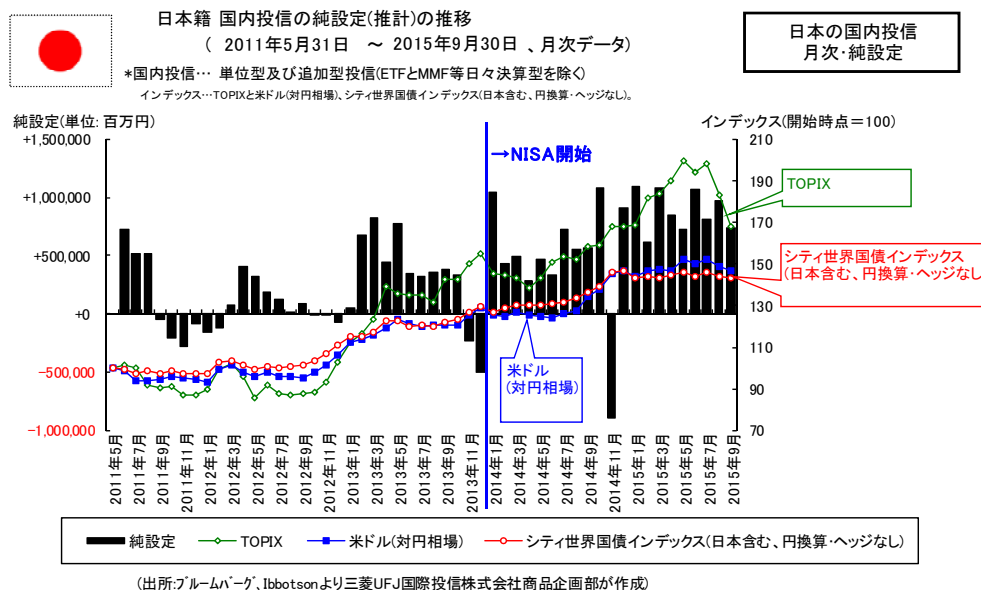
この様なボラタイルな相場展開の中、2015年末に投資総額約7兆円台(2015年6月末実績5兆1936億円)突破も期待されているNISA(少額投資非課税制度)で何が買われたか？

下記グラフは1年のパフォーマンスで好い順に、先進国REIT、エマージング債券、日本株式、先進国債券、ハイイールド債券となっている(*グラフは1年前を10000としている、円換算、日次データ)。



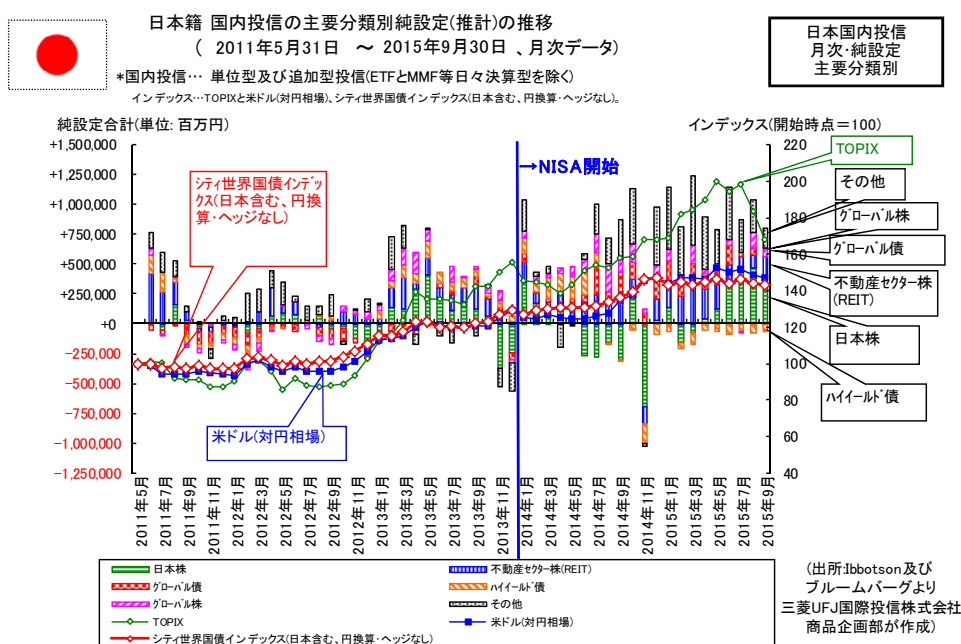
既存投資家は日本株・REIT・グローバル株を買っている様だ

当コラムでは、投資家を既存投資家と投資の未経験者層(新規投資家)とに分けて見ており、前者の既存投資家は投信全体の動向で代替、後者の未経験者層(新規投資家)はNISA向けファンド(後述※1参照)で代替している。まず既存投資家を示す投信全体の純設定(推計)は、最新2015年9月に+7400億円強の純流入だった。前月8月は+9700億円強を上回る純流入であったが、これで2014年12月以降10カ月連続純流入となる。



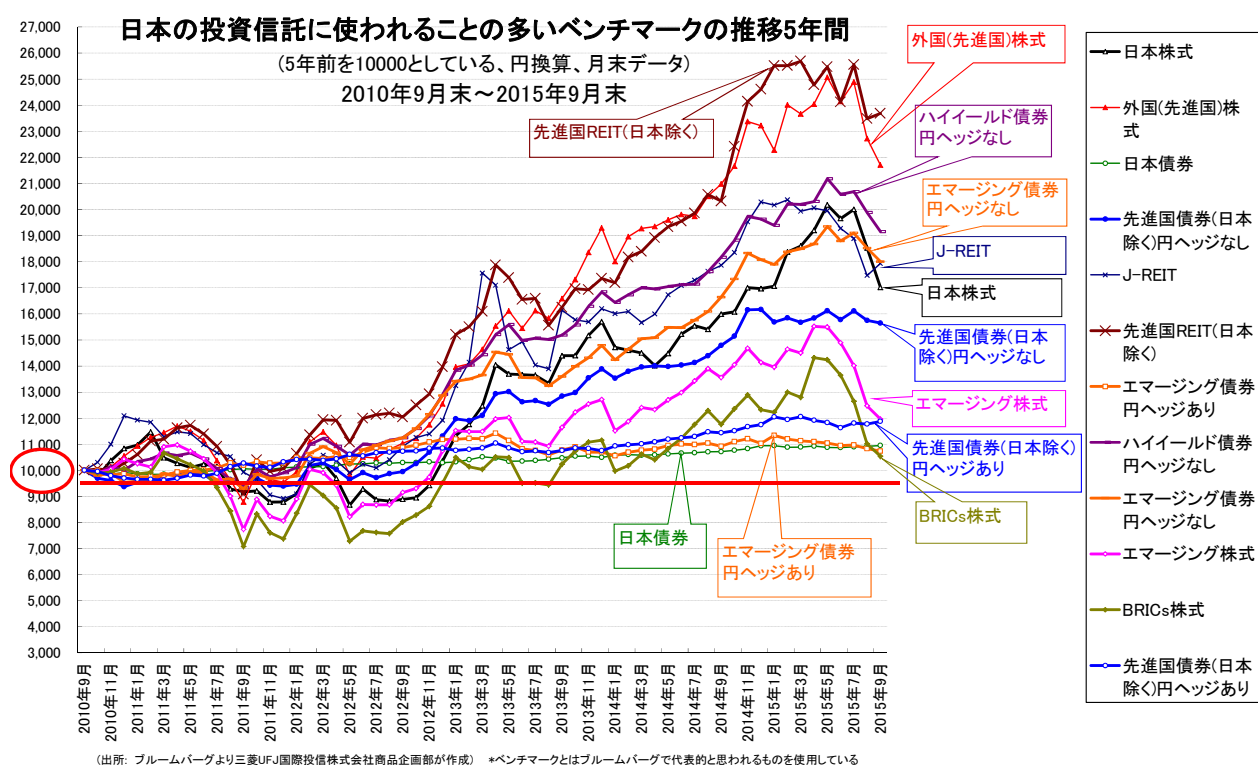
投資対象(主要分類)別で見よう。下記グラフの通り、最新2015年9月は前月に引き続き日本株が最も大きな純流入で、次いで不動産セクター株(REIT)、グローバル株、アセットアロケーション柔軟型、日本債などに資金が集まっている(*主要分類…モーニングスター分類で2014年12月末の純資産の大きい上位5分類~アセットアロケーション柔軟型はその他に含まれる)。また、純資産では20番目(全31分類中)と小さいものの、「その他オルタナティブ」が上記に次ぐ純流入であるが、これは日本株のブル・ファンドなどブル・ベアファンドによるものである。

日本株の純設定は2015年9月に+4200億円強、8月に+4700億円強、前月7月は+4400億円強と7月から3カ月連続+4000億円台の資金純流入が続いており、2015年の年初来(1~9月)では+1.7兆円強の資金純流入。REITは、2015年の年初来(1~9月)純設定が+1.8兆円強と日本株を上回り、昨年(2014年)1年間の純設定(+1.7兆円~トップ)を9月に超えたが、単月でみると9月は+1700億円強、8月は+1070億円強、7月は+1200億円強と9月は4割、7・8月は日本株の2割前後と、REITは日本株に後塵を拝している(2014年については2015年1月13日付日本版ISAの道 その86を参照~後述URL[参考ホームページ])。



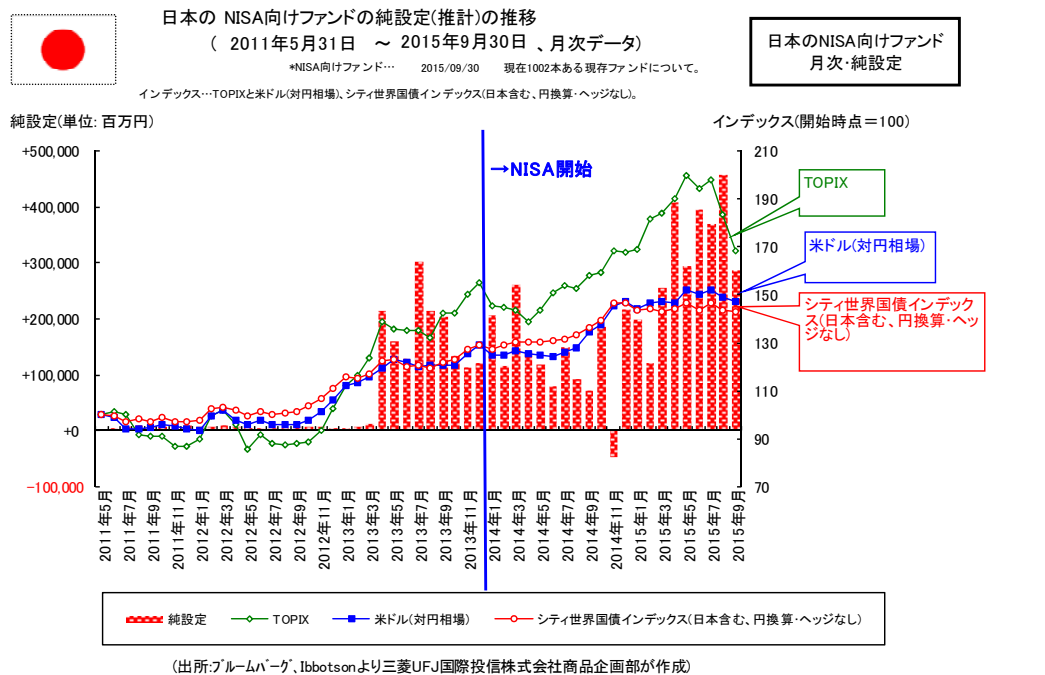
純設定とパフォーマンスの関係はどうだったか？ 投信に使われることの多いベンチマークのパフォーマンス推移を見た所、先述したグラフの通り、1年のパフォーマンスで好い順に、先進国 REIT、エマージング債券、日本株式、先進国債券、ハイールド債券だった(*グラフは1年前を10000としている、円換算、日次データ)。日本株は8月に急落して、9月はさらに下落しているが、「海外投資家が積極的に上値を追い、逆張りの個人投資家が利益確定するいつもの構図」(2015年9月27日付日経ヴェリタス)からすれば自然な流れであろう。また、REITについては長期相対パフォーマンスの良さに加え、相場が下がると、目先は分配金利回りが上がる為、その事も人気の要因かもしれない。

下記グラフは5年のパフォーマンスで、好い順に、先進国 REIT、先進国株式、ハイールド債券、J-REIT、日本株式、先進国債券となっている(*グラフは5年前を10000としている、円換算、月末データ)。



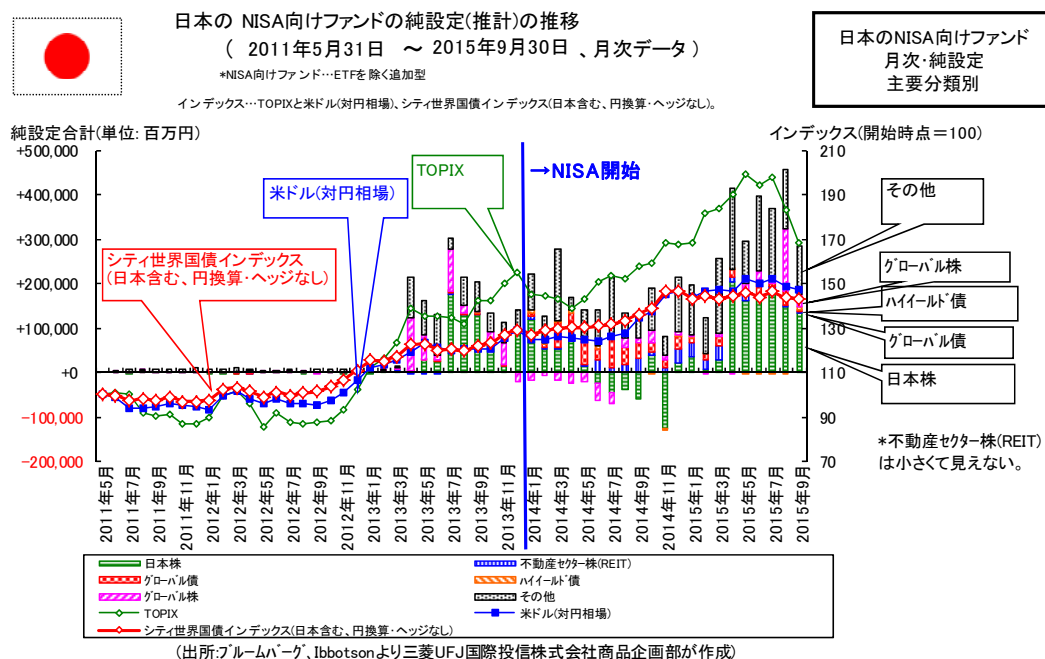
新規投資家は日本株・アセットアロケーション・その他オルタナティブを買っている様だ

次に新規投資家を示す NISA 向けファンド(後述※1 参照)の純設定を見ると、次頁グラフの通り、最新 2015 年 9 月に+2840 億円強と、NISA 開始(2014 年 1 月)以来最大だった前月 8 月(+4500 億円強)の約 6 割程度の水準で、2014 年 12 月から 10 カ月連続の資金純流入。



新規投資家は若年層が多いと思われるが、この若年層の NISA 投資が伸びていると言う事については、金融庁の「NISA 口座の開設・利用状況調査」(2015年6月末時点)で、「30代以下の NISA 買付額の増加率は 18.9%、NISA 口座数の増加率は 8.5%とそれぞれ年代別で最も高い(*2015年3月末から6月末にかけての増加率)。」と言う事に示されている通りである(URLは後述[参考ホームページ])。

この新規投資家と思われる投信の 2015年9月純設定を、投資対象(主要分類)別に見る。前述した既存投資家と思われる国内投信全体での主要分類を用いると、純流入1位は前月に引き続き日本株で(2015年4月から6カ月連続1位)、2位はアセットアロケーション柔軟型(同3位)、3位はその他オルタナティブ(同6位)、4位はグローバル株(同2位)、5位は米国大型ブレンド株(同5位)となっている(アセットアロケーション柔軟型およびその他オルタナティブ、米国大型ブレンド株は、下記グラフで「その他」に含まれる)。



既存投資家でも新規投資家でも、純設定額の半数を占めるほど日本株人気は継続である。次いで、アセットアロケーション柔軟型は安定した人気が続いている。3位の「その他オルタナティブ」だが、既存投資家では6位だったが、既存投資家と同様、これは日本株のブル・ファンドなどブル・ベアファンドによるものである。

※1: 「NISA 向けファンド」…投資信託協会の言う「NISA 向けのファンド(*分配頻度が低いファンド、低コストのファンド、バランス型ファンド)」を参考にしながら(URL は後述[参考ホームページ])、2013年11月末時点の契約型公募投信純資産が1兆円以上ある投信会社17社(*全84社の約90%を占める)の株式投信(ETFを含む)で「NISA 向け」、「NISA 専用」、「NISA で選ぶ」、「NISA におすすめ」などと紹介されているファンド、それに加え、2013年4月以降に設定された分配頻度が低いファンドやバランス型ファンドとしている。尚、2013年4月以降と言うのは、NISA が含まれる税制改正(関連)法が2013年3月30日に成立・政省令公布されたため。また、単位型・限定追加型・年1~2回分配以外のファンド・DC・SMA・ミリオン(従業員積立投資プラン)を含めていない。ただ、同じシリーズが該当している場合は年1~2回以外を含めている。しかし、通貨選択型については、年1~2回以外を除いている(*マネー・プールは年1~2回でも除いている)。こうした「NISA 向けファンド」を抽出した所、2015年9月30日時点で1002本となった。

ネット証券での人気は日本株・グローバル株

ここで、各証券会社の集計結果も見る。2015年10月2日現在で、各社HP(口座保有者限定の閲覧サイトは除く)に公表されている最新NISA・投資信託動向だが、ランキングを掲載しているのはネット証券会社が多かった。ランキングの集計時期や方法は証券会社により異なるので、ここでは、ネット証券各社がHPで公表する最新の内容を紹介する。NISA口座における投資対象はどのようなものか傾向を見る参考としてほしい。個別ファンドなどの詳細はオリジナルのサイトを参照の事(URLは後述[参考ホームページ])。

<NISA 投資信託>

○マネックス証券では最新2015年9月のNISA口座における月間売れ筋ファンド(販売額)のベスト10を発表しており、1・3・4・5位は日本株ファンド(*4位はブルベアファンド)、2位はグローバル株ファンドとなっている。前月8月のNISA口座における月間売れ筋ファンド(販売額)のベスト10を発表しており、1~4位は日本株ファンド(*2位はブルベアファンド)、5位はグローバル株ファンドだった。また週間の売れ筋ファンド(販売額)についても発表しており、最新週2015年9月21日から9月25日までは、1・3位は日本株ファンド、2・4・5位はグローバル株ファンドとなっている。約1カ月前の2015年8月24日から8月28日までは、1~4位は日本株ファンド(*2位はブルベアファンド)、5位はグローバル株ファンドだった。

○カブドットコム証券では、2015年8月のNISA口座買付総合(約定金額)ランキングを出しており、1位は不動産セクター(REIT)ファンド、2位は日本株ファンド、3位はアセットアロケーションファンド、4位はグローバル株ファンド、5位は新興国株ファンドとなっている。前月7月のNISA口座買付総合(約定金額)ランキングを出しており、1・4位は日本株ファンド、2・5位は不動産セクター(REIT)ファンド、3位はアセットアロケーションファンドだった。

○最大手であるSBI証券は週間のランキングを発表しており、最新週2015年9月21日から9月25日までの取引をもとにしたNISAの投資信託・買付金額の1・4位は日本株ファンド、2位はアセットアロケーションファンド、3・5位はグローバル株ファンドとなっている。約1カ月前の2015年8月24日から8月28日までの取引をもとにしたNISAの投資信託・買付金額の1~3・5位は日本株ファンド(*2位はブルベアファンド)、4位はグローバル株ファンドだった。

○楽天証券も週間ランキングを発表しており、2015年9月21日から9月25日までのNISA投資信託・買付金額の1・2・4位は日本株ファンド(*4位はブルベアファンド)、3位はグローバル株ファンド、5位は不動産セクター(REIT)ファンドとなっている。約1カ月前の2015年8月24日から8月28日までのNISA投資信託・買付金額の1~3・5位は日本株ファンド(*2位はブルベアファンド)、4位は不動産セクター(REIT)ファンドだった。

<NISA 積立~2015年10月2日現在で入手できる最新(公表データは限られており、集計の時期や対象は各社で異なるのであくまで参考まで)>

○マネックス証券では、2015年9月のNISA月間積立契約件数ランキングを出しており、1位はグローバル株ファンド、2・3位は日本株ファンド、4位はアセットアロケーションファンド、5位は新興国株ファンドとなっている(*1・2・5位はインデックスファンド)。

○カブドットコム証券では、2015年8月のNISA口座積立総合(約定金額)ランキングを出しており、1位はアセットアロケーションファンド、2・3位はグローバル株ファンド、4位は新興国株ファンド、5位は日本株ファンド(*2~5位はインデックスファンド)となっている。

○楽天証券は積立設定件数ランキングを週間で発表しており、2015年9月21日から9月25日までのNISA口座では、1・5位はグローバル株ファンド、2位は外国債ファンド、3位は日本債ファンド、4位は日本株ファンドとなっている(*すべてインデックスファンド)。

ネット証券では日本株の人气が強いが、1カ月前と比べると、グローバル株、REITやアセットアロケーションファンドなどへ人气が分散してきているようだ。特に積立ではグローバル株が人气で、日本株が後退している。

以上、NISAで何が買われたか、について既存投資家、新規投資家、ネット証券の順で見えてきたが、9月は日本株、次いでグローバル株が人気だった。そのほか、既存投資家ではREIT、新規投資家はアセットアロケーション・その他オルタナティブも人気だった。「金融商品の選択肢があまりに多い。…(略)…『情報が多すぎる』。結局、『何を買いやすいのか分からない』」(2015年3月3日付日本経済新聞朝刊)と言われる中、少しでも参考になれば幸いである。もちろん、これは2015年9月における事で今後は不明である。引き続き、データ等をしっかり見て判断していきたいものである。

以 上

[参考ホームページ]

2015年9月28日付日本版ISAの道 その115「マイナンバーいよいよ動く~成人NISA、ジュニアNISA、マイナンバー、各々における手続き等の十分な理解を促す情報提供を期待~」…「<http://www.kokusai-am.co.jp/news/jisa/pdf/150928.pdf>」、

2015年9月29日付日本経済新聞「市場心理映す急落劇 業績、新興国の影響に身構え」…「http://www.nikkei.com/my/#!/article/DGXLASGF28H22_Y5A920C1EN1000/」、

2015年9月30日付日本経済新聞「荒れる10月の株式相場、当分はでこぼこ道か」…「<http://www.nikkei.com/my/#!/article/DGXMZO92221660Z20C15A9000000/>」、

2015年10月1日付日本経済新聞「代替型、1年間の資金流入額 長期間運用のREIT人気 投信番付」…「<http://www.nikkei.com/markets/features/52.aspx?g=DGXXKZO9230505001102015ENK001>」、

2015年9月15日付金融庁「NISA口座の開設・利用状況調査」(平成27年6月末時点)の「NISA口座の利用状況

について」…「 <http://www.fsa.go.jp/policy/nisa/20150915-1.html> 」、
2014年1月8日付投信協会メールマガジン「NISA 向けのファンドって？」…
「 <http://www.toushin.or.jp/mailmag/> 」、
マネックス証券のNISA 月間売れ筋ランキング・投資信託・販売金額…
「 <https://fund.monex.co.jp/rankinglist#NISAMonthlySales> 」、
カブドットコム証券のNISA 月間口座買付総合ランキング…
「 http://kabu.com/item/NISA/ranking/fund_generation.html 」、
SBI証券のNISA ランキング・投資信託…「 <https://www.sbisec.co.jp/> 」、
楽天証券のNISA ランキング・投資信託…「 https://www.rakuten-sec.co.jp/NISA/#NISA_ranking 」。

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 当資料は日本版ISA(少額投資非課税制度、愛称「NISA/ニーサ」)に関する考え方や情報提供を目的として、三菱UFJ国際投信が作成したものです。当資料は投資勧誘を目的とするものではありません。
 - 当資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
 - 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
 - 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
 - 当資料に示す意見等は、特に断りのない限り当資料作成日現在の筆者の見解です。
 - 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
 - 投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
 - 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
 - 投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
 - クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。
 - 投資信託は、ご購入時・保有時・ご換金時に手数料等の費用をご負担いただく場合があります。
- 本資料中で使用している指数について
- ・東証株価指数(TOPIX)は、(株)東京証券取引所及びそのグループ会社(以下、「東証等」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウは東証等が所有しています。
 - ・シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスです。